

石狩市市制施行20周年

# つながる、広がる20年

石狩市のセールスポイントは、一言では言い表せません。  
市の魅力を6つのテーマから見つめ、それぞれの20年を振り返ります。

**未来の石狩を担う子どもたち**が健やかに育つ環境、誰もが健康で幸せに暮らせる地域社会を実現することを目指し、多くの地域・団体が活動を始め、連携を進めながら成果を広げてきました。

## 子育て・福祉



子育て中のママたちが立ち上げた「Art warm café ほわほわ」がオープンしたのは平成22年10月6日。

## 協働・市民活動



市民とともに考えた「第5期石狩市総合計画」。

石狩市の発展は、まちの課題に**自ら主体的に取り組む市民活動**が中心となってきました。**“市民参加”“協働”**といったキーワードは、石狩のまちづくりに欠かすことのできない要素となりました。

## 文化・スポーツ



平成21年9月5日～8日に開催されたねんりんピック北海道・札幌2009。石狩市はその「ソフトボール交流大会」の会場になりました。

石狩市民の文化活動への関心は高く、市民文化祭や俳句コンテストなどのさまざまな発表・交流の機会が、多くの市民の手により支えられ、育まれてきました。また、平成元年に開催された「はまなす国体」を契機とした**ソフトボールの振興、スポーツ健康都市宣言、市民皆スポーツ**を実現するために、これまで多くのイベントが積極的に開催されています。

## 環境・エネルギー



平成17年2月、  
新港地区に2基の  
市民風車が完成。

広大な森林、石狩浜の海浜植物などの貴重な**自然環境**を次世代へとつなぐ活動が、多くの市民の思いにより育まれてきました。また、石狩湾新港地域をエネルギー後背地と見据え、**新エネルギー活用への挑戦**を官民一体となって続けてきました。

## 石狩湾新港・産業



昭和47年11月に決定した「石狩湾新港港湾計画」から始まった石狩湾新港。今では1万3千人に及ぶ雇用を創出する地域となりました。

石狩を代表する食材「**鮭**」を使った、地域の宝である**石狩鍋**の復活に向けた取り組み。さらには新グルメの開発を目指して**いしかりバーガー**や**鮭醤油ラーメン**、**寒塩引**などが続々誕生。美しい自然景観・豊富な食材などを活用し、多くの団体・企業が連携を深めながら、石狩の魅力を発掘し、発信しようと挑戦してきました。

## 食・観光



平成19年度からスタートした「石狩鍋復活プロジェクト」を契機に、市内飲食店の店主らで組織する石狩鍋PR団体「あき味の会」が結成されました。

石狩市の持続的な発展を支える重要な地域である石狩湾新港地域は、この20年間で港湾機能が充実し、強化され、700社を超える企業が集積するなど日本海側の**国際物流拠点**として着実に発展してきました。市内の産業においても、それぞれの強みを生かし、特徴的な商品・サービスの開発に挑戦した20年でもありました。